

氏名 志賀 泰雄 (西区)

1. 新潟市の人口減少について

若い世代の首都圏への人口流出により、新潟市の人口は減少しています。人口流出に歯止めをかけるため新潟市は具体的に何をすべきであると考えられますか。

要旨

魅力ある良質な雇用の場の創出

詳細

本市にとって若者世代の人口流出のタイミングに大学の卒業がある。それは首都圏を中心に本社がある大企業への就職ニーズの高まりによる所が大きい。賃金、福利厚生、企業の発展性、また安定性など魅力ある企業が必要と考える。具体的には、企業誘致の活性化（本社機能の移転促進含む）、企業集積、創業支援などによる良質で魅力的な雇用の場を生み出すことが必要と考える、合わせて本市の99%を占める中小企業支援を手厚く行う必要がある。特に生産性向上に資する設備投資補助を中長期的に取り組むべき。また女性が働き続けられる環境整備も行いながら多様な働き方に答える必要がある。

2. 若年層へ向けた政策について

18歳から30代の若年層に向けた政策についてお聞かせください。

要旨

未婚化・晩婚化への対策

詳細

生涯未婚率の上昇・晩婚化の背景には結婚して家庭が持てるだけの収入を得られていない若者が増えている事が挙げられる。所謂、不本意非正規労働者の増加による収入の低さ、不安定さへの対策が必要。正社員での就労を目指す、資格や職業訓練の充実はもとより、非正規社員への社会保険適用の拡大を進める必要がある。また、若者を支援する社会資源のメニューを増やし、支える側だけで括るのではなく、支えられる側としても見ていく必要があると考える。

3. 若年層の政治への無関心について

若年層が政治離れする一番の理由として、誰がやっても変わらないという意見がありますが、どのように感じていますか。

要旨

将来に対する閉塞感を感じているのではないか

詳細

戦後最長ともいわれる好景気も実感は乏しく、特に景気が良かった事を体験していない若年層ではそれが一段と大きいと考える。特に現役世代に重くのしかかる社会保障費の増大と可処分所得の減少で将来に対して明るい希望を持たなくなっている閉塞感を感じていると考える。それが政治への諦め、無関心につながっている。政治家は今こそ若者の声に耳を傾け、まだ生まれていない子どもや孫の事を考えながら政策を進める必要がある。

#### 4. 新潟市とSDGsについて

新潟青年会議所では本年度、私たちの考える明るい豊かな社会の実現のため、誰一人も取り残されない、持続可能な目標であるSDGsを推進していますが、SDGsの17項目のうちどの項目に力を入れて具体的にどのように取り組んでいきたいと考えますか。

要旨

貧困をなくそう

詳細

日本では相対的貧困率が7人に1人と言われており、特にひとり親家庭の半分が貧困層とも言われている。そして親の貧困は連鎖をし、学びたいのに学べない子どもや、様々な経験をする事が出来ないなど、子どもの将来にも大きく影響を及ぼす。子どもの貧困対策として子どもの学習支援、子どもの居場所そして学校のプラットフォーム化を進めて行きたい。

また、ひとり親への支援を充実させることも重要である。その他、就職氷河期世代への対策、若者支援など公的支援が不足している貧困層への支援にも取り組む必要がある。

#### 5. 中原市長の10の基本政策に対してどのように考えていますか。

10の基本政策のうち一つ選択し、お書きください。

要旨

元気なまち新潟に期待する。

詳細

本市の経済情勢は景気回復の実感に乏しい中、近郊他都市と比べてインバウンド需要も拮めず、中心市街地の活性化も課題となっている。そのような中、まず第一に、低迷する新潟経済に注力する姿勢は評価できるし、何よりも市民所得の向上を目的としている点で期待をしている。経済発展はそこに住む人に還元されるものとして福祉や教育への充実に向け期待したい。